

日本・沖繩の歴史年表（1926〜2022）

青・沖繩・南西諸島のできごと

黒・日本国内のできごと

赤・日本国外及び対外的できごと

紫・日本軍による空襲

緑・日本への空襲

1926 昭和元年

第一次若槻内閣 京都学連事件で初の治安維持法適用

1927 蔣介石、南京に国民政府樹立

田中義一内閣 第一次山東出兵開始

1928 治安維持法を改正（最高刑 死刑）

張作霖爆殺事件

第二次・第三次山東出兵

拓務省を設置、海外移民を指導・奨励

1929 濱口内閣 パリ不戦条約発効

ニューヨーク株式市場大暴落 世界恐慌始まる

1930 ロンドン海軍軍縮会議開催

共産党員一斉検挙開始

柳条湖事件・満州事変

第二次若槻 〔関東軍が満州全域を制圧 錦州爆撃〕

犬養内閣

1932 第一次上海事変が起こる

満州国を建国する 満蒙開拓移民推進

五・一五事件が起こる

ドイツ総選挙でナチス党圧勝

1933 齋藤内閣 ナチスが政権獲得

小林多喜二、治安維持法違反容疑で逮捕、拷問、虐殺

日本、国際連盟を脱退する

1934 東北地方を中心に冷害・不漁が続き、凶作による飢饉発生

岡田内閣 凶作地に対する政府所有米穀臨時交付に関する法律公布

1935 ナチスドイツ国際連盟を脱退する

1936 ニ・ニ六事件が起こる

1936 夏季オリンピックピックベルリンで開催

廣田内閣 日独防共協定締結

1937 スペイン内戦

林内閣 ナチスドイツ、ゲルニカ空襲

第一次近衛 盧溝橋事件 日中戦争が始まる

通州事件が起こる

第二次上海事変が起こる

日独伊防共協定締結

渡洋爆撃(上海・南京・揚州・九江)

南京占領 南京事件

1938

石川達三著南京従軍記「生きている兵隊」掲載誌発禁処分、検挙
国家総動員法・電力管理法を制定する 学徒勤労動員

重慶大爆撃(543 218回) 満蒙開拓青少年義勇軍

(重慶、成都・乐山・自貢の四川省各都市)

1939

重慶大爆撃 五・三、五・四空襲

ノモンハン事件

阿部内閣

国民徴用令を出す

1940

ドイツポーランド侵攻

第二次世界大戦始まる

斎藤隆夫、反軍演説により議員除名(1942年再選)

重慶大爆撃 百一号作戦

日本軍北部仏領インドシナへ進駐

日本軍による三光作戦

1941

日独伊三国軍事同盟

大政翼賛会発足

国民体力法・国民優生法を制定する

東條陸相「戦陣訓」を通達

国民学校令施行

国防保安法制定 治安維持法を改正

1941

日ソ中立条約

重慶大爆撃 大隧道窒息惨案

重慶大爆撃 百二号作戦

1942

日本軍南部仏領インドシナへ進駐

防空法改正

開戦詔書 真珠湾攻撃・マレー侵攻 アジア太平洋戦争始まる

言論・出版・集会・結社等臨時取締法

ナチスドイツによるユダヤ人殺害計画(ヴァンゼー会議)

マニラ、セレベス島、ラバウル、ジャワ、シンガポール・侵攻

オーストラリア・ダーウィン・ブルーム・空襲(543.11)

オランダ領東印(現インドネシア)占領

米軍 ドウリットル空襲
(東京・横浜・川崎・横須賀・名古屋・神戸)
ミッドウエー海戦 ガダルカナル島の戦い
ソロモン海戦・南太平洋海戦
東部ニューギニアの戦い

1943 キスカ島上陸・アッツ島上陸
オーストラリア・タウンズヴィル空襲
日本軍、読谷村・伊江島に飛行場建設開始

アッツ島玉砕 マリアナ沖海戦
イタリアが降伏する
学徒出陣が始まる

1944 サイパン・グアム・テニアン島を米軍が制圧
米軍 北九州初空襲・全国都市空襲
小磯内閣
フイリピン沖海戦 神風特攻隊初出撃

風船爆弾を千葉県等から米国へ
沖繩本島・南西諸島に日本軍配備 空港・基地建設
対馬丸米軍魚雷攻撃で沈没

1945 十・十空襲（奄美・沖繩・南西諸島）
ヤルタ会談が開かれる
硫黄島の戦い

鈴木貫太郎内閣 米軍 東京大空襲・全国都市空襲
先島諸島・大東島地区・奄美地区に米軍艦載機の空襲
米軍沖繩上陸 地上戦が行われる（沖繩戦）

米兵による強姦事件多発（座間味村・玉城村・羽地村・石川市・本部市・
慶良間諸島の戦い・先島諸島の戦い・沖繩本島北部・南部の戦い
伊江島の戦い 久米島上陸・ニミッツ布告（日本の統治権停止）
ドイツが降伏する

沖繩戦終結（6／23 沖繩本島）
ポツダム宣言が発表される

広島に原爆が投下される
ソ連が満洲に侵攻する
長崎に原爆が投下される
ポツダム宣言を受諾する

玉音放送 終戦（8／15）
東久邇宮内閣
戦艦ミズーリで降伏調印（9／2）

沖繩守備軍降伏調印式（9／7）
沖繩戦終結 降伏調印 連合軍占領 沖繩諮詢会設置
第二次世界大戦が終結する
国際連合が成立する

幣原内閣
アジア諸国の独立が続く
米ソの対立（冷戦）が始まる

沖繩戦で生き残った住民は民間収容所へ
日本陸軍中飛行場を接收、嘉手納飛行場・・↓嘉手納基地
宜野湾市の農村・集落接收、普天間飛行場・・↓普天間基地

金武村に飛行場建設↓射撃場・・↓キャンプ・ハンセン
浦添村日本陸軍南飛行場を接收、物資集積所↓

・・↓牧港補給地区・キャンプ・キンザー

1946 日本陸軍伊江島飛行場と周辺地区を接收・・↓伊江島補助飛行場
連合国よりアメリカ軍政へ移行

米兵による強姦事件多発 多数の混血児が生まれる

第一次吉田 沖縄民政府発足(志喜屋孝信知事)

1947 日本国憲法が公布される

1947 **GHQが2・1スト中止を命令する**

教育基本法・労働基準法・地方自治法公布

片山内閣 日本国憲法が施行される

1948 優生保護法が制定される(強制不妊手術が行われる)

芦田内閣 **B円(米軍発行の軍票)以外の通貨流通が禁止される**

大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国が成立する

第二次吉田 伊江島で米軍の弾薬輸送船が爆発

(民間の連絡船が巻き込まれて106人死亡)

1949 **北大西洋条約機構(NATO)が成立**

第三次吉田 **ドイツ連邦共和国(西)・**

ドイツ民主共和国(東)が成立する

中華人民共和国が成立する

1950 琉球列島米国民政府(米統治機関USCAR)発足

朝鮮戦争が起こる(1953)

共産党員等の追放が始まる 警察予備隊が発足

1951 **サンフランシスコ講和条約・**

日米安全保障条約を結ぶ

米兵による強姦・暴行・殺人続発 戦後6年間の強姦事件278件

1952 **サンフランシスコ講和条約発効**

日米行政協定調印、日米安全保障条約と共に発効

沖縄アメリカの施政権下に琉球政府が設置される

警察予備隊が保安隊に改編される

第四次吉田 軍用地確保のため土地収用令を公布、

第五次吉田 銃剣とブルドーザーで各地の土地を強制収容

島尻郡真和志村(現那覇市)を接收↓牧港住宅地区1987返還

日本軍小禄飛行場と周辺地区を強制接收↓那覇空軍海軍補助施設

↓**那覇空港** 伊江島伊江村で住民に立ち退き通告

1954 **ビキニ水爆実験で第五福竜丸が被爆する**

土地を守る四原則を決議する

自衛隊法と防衛庁設置法が成立する 自衛隊が発足する

1955 伊江島で強制土地接收 沖縄本島で非暴力による「乞食行進」
宜野湾村伊佐浜強制土地接收・伊佐浜土地闘争→キャンペーン瑞慶覧
「イタイイタイ病」を紹介する記事「富山新聞」に掲載

1955 **第一回原水爆禁止世界大会が広島で開催される**

1955 「水俣病」が公式に確認される

「森永ヒ素ミルク事件」が起こる

第二次鳩山

原子力基本法が成立する

由美子ちゃん事件（6歳女子が米兵に拉致・強姦・惨殺 嘉手納村）

第三次鳩山

プライス勧告が出される 島ぐるみ闘争

1956 **日ソ共同宣言に調印、国交を回復する**

国際連合への加盟が認められる

石橋内閣

琉大事件（米軍による学生運動に対する弾圧）

1957 千葉市の川崎製鉄による大気汚染拡がる

第一次岸内閣

1958 B円がアメリカドルに切り替えられる

第二次岸内閣

首里城跡に守礼門再建始まる

1959 宮森小学校米軍機墜落事故（石川市（現うるま市）市街地に米軍機墜落

宮森小学校に突入。児童156人と住民54人が負傷、17人死亡）

イノシシ事件（演習場内の水田を見に行った女性を米兵が射殺・金武町）

1960 **日米安全保障条約が改定される 日米地位協定調印、発効**

沖縄県祖国復帰協議会が設立される

高度経済成長政策が進められる

第二次池田

四日市でぜんそく患者が多発

1961 具志川村（現うるま市）川崎に米軍ジェット機墜落（2人死亡）

1962 最初の原子炉が東海村で運転を開始する

1963 国場君事件

第三次池田

（那覇市で中学生が青信号で横断中に米軍トラックにはねられ死亡）

1964 「朝日訴訟」が提起される（憲法25条「生存権」と生活保護法について提起）

東京オリリンピック・パラリンピックが開かれる

第一次佐藤

米原子力潜水艦シードラゴン号佐世保入港

1965 **日韓基本条約を結ぶ**

1965 公害の被害が深刻化する

「新潟水俣病」発生を公式確認（阿賀野川下流）

アメリカが北ベトナム爆撃を開始する

隆子ちゃん事件

（読谷村で米軍機からトレーラー落下、下敷きで少女死亡）

60年代後半 ベトナム帰還兵による強盗・性犯罪・ホステス殺し続発

1967 燃える井戸（嘉手納基地のジェット燃料が地下水脈に流れ込む）

第二次佐藤

1968 「イタイイタイ病」政府による公害病認定第一号になる

厚生省「水俣病」の原因物質を認定（チッソ水俣工場廃液）
行政主席選挙実施（屋良朝苗主席誕生）

嘉手納基地で大型爆機B52爆発炎上

公害反対運動が高まる

1969 ニクソン・佐藤会談で「72年の沖縄返還合意」

1970 よど号ハイジャック事件が起こる

大阪万国博覧会が開催される

第三次佐藤

沖縄復帰を見込み、日本国政参加選挙実施

コザ事件（コザ蜂起）が起こる（交通事故処理を巡り反米感情爆発）

1971 毒ガス移送（ベトナム戦争に向け嘉手納・辺野古弾薬庫より移送）

1972 グラム島で横井庄一氏発見・帰還

札幌オリンピック開催

あさま山荘事件が起こる

沖縄返還 沖縄が本土に復帰する

第一次田中角栄日中共同声明を発表し、国交が正常化される

第二次田中

1973 ベトナム和平協定 アメリカ軍が撤退する

ドバイ日航機ハイジャック事件が起こる

第四次中東戦争勃発により石油危機が起こる

1974 ルパン島で小野田寛郎元少尉を発見・帰還

三木内閣

1975 沖縄国際海洋博覧会開催

皇太子明仁親王・美智子妃訪沖 ひめゆりの塔事件

第一回先進国首脳会議に参加する

1976 ロッキード事件で田中角栄元首相ら逮捕される

福田赳夫内閣

1978 日中平和友好条約を結ぶ

第一次大平 アメリカとの貿易摩擦が激しくなる

1979 国際人権規約を日本が批准する

第二次大平 スリーマイル島原発で大事故が起こる

1980 韓国で光州事件

鈴木善幸内閣 イラン・イラク戦争勃発

1981 中国残留日本人孤児の調査が始まる

バブル景気が始まる

難民条約を日本が批准する

1982 平和市長会議が設立される

第一次仲宗根内閣

1983 厚生省「薬害エイズ」の調査を開始する

第二次仲宗根 仲宗根首相「不沈空亡」発言

1985 女子差別撤廃条約を日本が批准する

1986 チェルノブイリ原発で大事故が起こる

第三次仲宗根 男女雇用機会均等法が施行される

1987

竹下内閣

1989 天安門事件が起こる

ベルリンの壁が解放される

マルタ会談 米ソが冷戦の終結を宣言する

消費税が実施される（3%）

宇野内閣

第一次海部

1990 東西ドイツが統一される

第二次海部 イラクによるクウェート侵攻

1991 湾岸戦争が始まる

ソ連が崩壊する

海上自衛隊ペルシヤ湾掃海部隊を派遣する

宮澤内閣 バブル景気が崩壊し、不景気となる

1992 国連平和維持活動協力法（PKO法）成立

陸上自衛隊PKOカンボジア派遣

1993 河野洋平官房長官が「慰安婦」に関する謝罪と反省の談話を発表

ヨーロッパ連合（EU）が発足する

細川内閣 陸上自衛隊PKOモザンビーク派遣

1994 子どもの権利条約を日本が批准する

羽田内閣

1994

村山内閣

1995 阪神淡路大震災が起こる

オウム真理教による地下鉄サリン事件が起こる

米兵による日本人女性殺害（宜野湾市）

米兵少女暴行事件（12歳の少女拉致・暴行 キャンプ・ハンセン）

平和の礎完成

少女暴行事件を糾弾する県民総決起大会（85000人）

人種差別撤廃条約を日本が批准する

1996 陸上自衛隊PKOゴラン高原派遣

第一次橋本 米兵運転の乗用車で母子3人はねられ死亡

日米間で普天間基地の移設条件付き返還を合意

第二次橋本 高江へリパッド新設を日米合意

1997 アイヌ文化振興法が成立する

1998 日米防衛協力指針(ガイドライン)決定
地球温暖化防止京都会議が開かれる
米兵による女子高校生ひき逃げ死亡事件

小淵内閣

1999 通信傍受法・周辺事態法・国旗国歌法・情報公開法
男女共同参画社会基本法が成立する
拷問等禁止条約を日本が批准する

普天間基地の名護市辺野古崎沖の移転を閣議決定

2000 児童虐待防止法・ストーカー規制法・
循環型社会形成推進基本法成立 少年法改正

第一次森内閣

第二次森内閣

第二次森内閣

2001 ハイジャック機が世界貿易センタービルに突入(9・11)

第一次小泉

アメリカなどがアフガニスタンを爆撃する・アフガン戦争
テロ対策特別措置法・DV防止法成立

海上自衛隊インド洋派遣

2002 陸上自衛隊PKO東ティモール派遣

2003 イラク戦争が始まる 小泉首相イラク戦争支持表明

第二次小泉

イラク特別措置法・個人情報保護法成立
有事関連3法成立(改正安全保障会議設置法・
武力攻撃事態対処法・改正自衛隊法)

有事関連7法成立(国民保護法・米軍行動関連措置法・
特定公共施設利用法・国際人道法違反処罰法・
海上輸送規制法・捕虜取扱い法・改正自衛隊法)

2004

自衛隊イラク復興支援派遣

航空自衛隊イラク復興支援輸送航空隊派遣

イラク日本人質事件が起こる

イラク日本人青年殺害事件が起こる

普天間基地所属ヘリ沖縄国際大学キャンパスに墜落

日本国際博覧会「愛・地球博」が開催される

普天間基地の移転先を辺野古崎沿岸部に変更

2005

普天間基地移転、キャンプ・シュワブ新沿岸案で日米合意

2006

第一次安倍 教育基本法を改正する

2007

陸上自衛隊PKOネパール支援団参加

福田康夫内閣

2008 国民投票法成立 少年法改正
新テロ特別措置法成立

海上自衛隊インド洋派遣

陸上自衛隊PKOスーダン派遣

少年法改正

麻生内閣

米軍小型飛行機、名護市のサトウキビ畑に墜落炎上

2009 海上自衛隊ソマリア沖海賊対策部隊派遣

民主党鳩山代表、普天間基地移設先「最低でも県外」と表明
鳩山由紀夫内閣 読谷村で米兵による日本人男性ひき逃げ死亡事件

2010 普天間基地の県内移設反対県民大会（90000人）

日米両政府、普天間基地移設先を辺野古とする共同声明
陸上自衛隊PKO東ティモール監視員派遣

菅直人内閣

陸上自衛隊PKOハイチ派遣
アラブの春（チュニジア・ジャスミン革命・・・2012）

2011 東日本大震災が起き、福島原発で大事故が起こる

シリア内戦始まる→現在
陸上自衛隊PKO南スーダン派遣

イラク戦争終結

野田内閣
2012 原発事故子ども・被災者支援法成立

第二次安倍
オスプレイ、普天間基地に強行配備

2013 米軍戦闘機、国頭村沖合50カイリの海上に墜落
サッカー場でダイオキシンメーカーの腐食したドラム缶多数掘出
米軍救援ヘリ、宜野座村キャンプ・ハンセン内に墜落

いじめ防止対策推進法・子どもの貧困対策法・
特定秘密保護法・国家安全保障会議設置法・

マイナンバー法成立 生活保護法改正

アルジェリア人質拘束事件が起こる

仲井真知事、政府の埋め立て申請を承認

2014 障害者の権利に関する条約批准 少年法改正

集団的自衛権容認の閣議決定

「島ぐるみ会議」を結成

2014 湯川遥菜さん・後藤健二さん・ISに拘束される

辺野古浜で県民大会・抗議集会（3600人）

辺野古浜で県民大行動（5500人） 沖縄県庁包囲行動（3800人）
県知事選で翁長雄志氏当選

第三次安倍
衆院選小選挙区でオール沖縄候補全員当選

2015 湯川遥菜さん・後藤健二さん・ISに殺害される

翁長知事の工事中断を申し入れに対し、安倍内閣は拒否
安田純平さん・シリアで拘束される（2018解放）

新安保法制（平和安全法制整備法・国際平和支援法）が成立する
（改正） 自衛隊法・国連PKO協力法・船舶検査活動法・周辺事態

安全確保法（重要影響事態安全確保法）・事態対処法・
米軍等行動関連措置法・特定公共施設利用法・海上輸送規
制法・捕虜取り扱い法・国家安全保障会議設置法

（国際平和支援法）

2016 与那国島に自衛隊駐屯地を新設する

学校法人森友学園に不適正価格で国有地売却

2017 今治市で加計学園グループの岡山理科大獣医学部新設決まる

「モリカケ問題」として国会で論戦

辺野古基地建設 護岸造成工事に着手する

共謀罪法（改正組織的犯罪処罰法）が成立する

第四次安倍

2018 広島高裁で伊方原発運転差し止めを決定

森友学園問題で近畿財務局の公文書改ざん。赤木俊夫さん自殺

玉城デニー知事誕生

2019 辺野古基地建設 土砂投入開始する

香港民主化デモ（以降継続）

辺野古基地建設のための埋め立ての賛否を問う県民投票反対多数

奄美大島・宮古島に自衛隊駐屯地が新設される

石垣島で自衛隊駐屯地建設工事着工 消費税10%に

2020 中村哲さんがアフガニスタンで銃撃され死亡

新型コロナウイルス感染拡大が広がる 新型コロナウイルス対策特措法

菅義偉内閣

2021 香港国家安全維持法が成立する

日本学術会議会員の任命拒否

ミャンマーでクーデター起こる

馬毛島で自衛隊基地建設に向けて環境アセス開始

デジタル改革関連6法成立 新型コロナウイルス対策特措法改正

少年法改正 義務教育標準法改正 国民投票法改正 土地規制法

東京オリリンピック・パラリンピック開催

第一次岸田

第二次岸田

アフガニスタン戦争終結・米軍撤収・タリバン政権樹立

第49回衆議院議員選挙で自民党が絶対安定多数の議席を獲得、

名護市長に政府・与党が支援する渡具知武豊氏再選

ロシアによるウクライナ侵攻

沖縄本土復帰50年

【参考資料】「ともに学ぶ人間の歴史」中学社会 歴史的分野 学び舎

「最新世界史図説 タペストリー」十二訂版 帝国書院 母と子で見る3「日本の空襲」 草の根

出版会 東京ゲルニカ・重慶「空襲から平和を考える」 岩波書店

ウィキペディア「日本国歴代内閣」・「沖縄県の年表」他 沖縄県ホームページ「基地」他

★さまざまな資料を基に、個人的な判断で、1926年（昭和元年）から現在までのできごとを抜粋しました。間違いがあるかも知れません。

ちば・戦争体験を伝える会 市川まり子